



審査結果報告書

2022 年 1 月 5 日

主 査 氏 名 比企直樹 

副 査 氏 名 佐藤之俊 

副 査 氏 名 村雲芳樹 

副 査 氏 名 草野 央 

1. 申請者氏名 : 宮崎 和人

2. 論文テーマ : Examination of endobronchial ultrasound - guided
transbronchial needle aspiration using a puncture
needle with a side trap
(側孔付き穿刺針を用いた超音波気管支鏡ガイド下針生検
の検討)

3. 論文審査結果 :

本論文は縦郭リンパ節腫脹および、気管や気管支周囲の腫瘤に対して EchoTip ProCore という名称の穿刺針を使った超音波気管支鏡ガイド下針生検 (EBUS-TBNA) の診断的有用性を示した臨床的意義の高い論文です。

単一施設において、行われた前向きコホート研究であり、長径 10mm 以上と CT で診断されたリンパ節、肺内腫瘍または胸膜腫瘤に対して EchoTip ProCore を使用した EBUS-TBNA を行った 57 例が登録されました。

結果として 93% (53/57 症例) で組織学的診断が得られ、病理診断が可能となりました。また、組織診、細胞診の合計すると 88% (50/57 症例) で病理学的な確定診断を得ました。

著者はこの結果は同施設の後方視的観察によるデータ 66% (19/29 症例) と比べて、優れたデータである可能性が高いと考察しています。これらのデータには背景や時期的な違いがあると考えられ、直接的な比較は出来ないものの、今回の論文で示されたデータは新規性があり、ある程度纏まった症例数の報告も過去に見当たらないのため、臨床的価値が高い論文と評価致しました。

今後、多施設の大規模な研究で、背景を揃えての前向きコホート研究か、前向きの無作為化比較試験が行われると更に価値が高い論文となると思われます。しかしながら、本論文は本研究課題の第一報としては価値があり、北里大学の学位論文に相応しいと判断致しました。